

施設野菜＋露地野菜経営の早期経営安定による売上高確保

対象者 甲賀市水口町 H氏

【普及活動のねらい】

H氏は、新規就農を目指し平成29年度に農業大学校就農科で野菜の栽培と経営について学ばれました。昨年より甲南町の農地を借受け、施設野菜（少量土壌培地耕による半促成トマト＋抑制キュウリ栽培）と露地野菜（白ネギ、秋冬キャベツ）の複合経営を開始され、半促成トマト・抑制キュウリ栽培については、目標の収量を達成されているところです。

今年度は、新たに施設を増棟し軟弱野菜（葉ネギ、ホウレンソウ）と露地野菜の白ネギについて栽培面積を増やし取り組まれることから、それらの品目においても目標の収量が確保され、安定した経営が行えるよう支援を行いました。

【普及活動の内容】

施設を利用した軟弱野菜の栽培管理技術の習得支援

葉ネギ、ホウレンソウについては、はじめて取り組まれることから現地指導を中心に播種・育苗・追肥・灌水等の栽培管理技術の習得の支援をしました。

出荷については、販売先のニーズを踏まえた品種の選定や新たな販路などJAと調整を行いました。



葉ネギ・ホウレンソウ栽培圃場

露地野菜の栽培管理技術の習得支援

白ネギについては、昨年定植作業が遅れたことから、適期定植（6月上旬）が出来るよう圃場の準備・排水対策の実施について指導しました。また、中耕・除草・土寄せ作業・防除が適期に実施出来るよう現地指導を中心に支援しました。

各栽培品目において自らが判断し播種・育苗・施肥・防除等の栽培管理作業が出来るよう現場の状況を踏まえ指導するとともに、取り組まれている栽培品目の生育が遅れないよう各作業に優先順位を付け指導をしました。



白ネギ栽培圃場

【普及活動の成果】

各品目とも一連の栽培管理技術が習得されたことから葉ネギについては、10aあたり1,400kgの目標に対し、2,000kgが収穫出来ました。また、ホウレンソウについては、1回目の出荷が完了し、現在は出荷先から追加の要望もあり引き続き順調に栽培が続けられています。白ネギについては、3aから7aへと栽培面積を拡大しつつも適期作業が実施され、2～3月の出荷に向け栽培されています。

今後も、今年度の反省点を踏まえ、安定した経営に向け支援を継続します。